

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
BEV+XELOX	21日間	中等度催吐性リスク(アプレピタント併用)

薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			
カペシタビン	2000mg/m <sup>2</sup>	2×朝・夕食後		→																						
アプレピタント125mg	1カプセル	1×抗がん剤開始60分前	●																							
アプレピタント80mg	1カプセル	1×朝		●	●																					
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	グラニセトロン デキサメタゾン	3mg/100mL 3.3mg	メイン	30分	●																					
2	ベバシズマブ* 生理食塩液	7.5mg/kg 100mL	メイン	1時間30分	●																					
3	オキサリプラチン 5%ブドウ糖	130mg/m <sup>2</sup> 250mL	メイン	2時間	●																					
4	生理食塩液	50mL	メイン	15分	●																					

\*初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行ってもよい。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与可能。